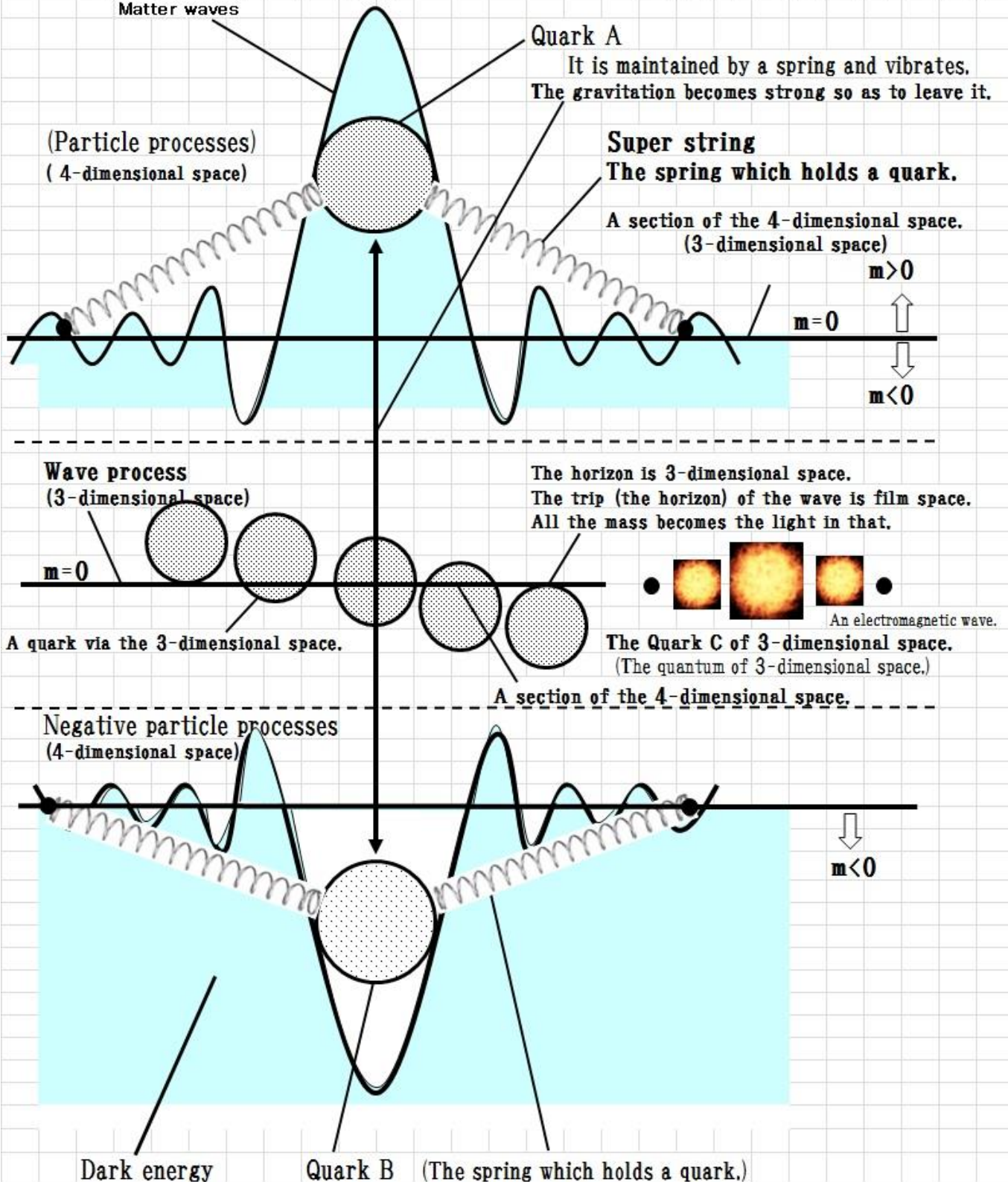


A pulsation hypothesis leads a super string and a quark theory.

(A string theory of the elementary particle size.)

(image)

The fault of the initial string theory. A hadron of mass zero. The quark which came close. Quark A and quark B. The vibration of the same thing. Both are not separate existence. A matter wave holds a quark. A matter wave lets a quark vibrate. A matter wave is elastic body. One quark turns into quark A, quark B, quark C. The trip (the horizon) of the wave is film space. The trip (the horizon) of the wave is 3-dimensional space. All the mass becomes the light in that. The mass of the hadron is zero in that.



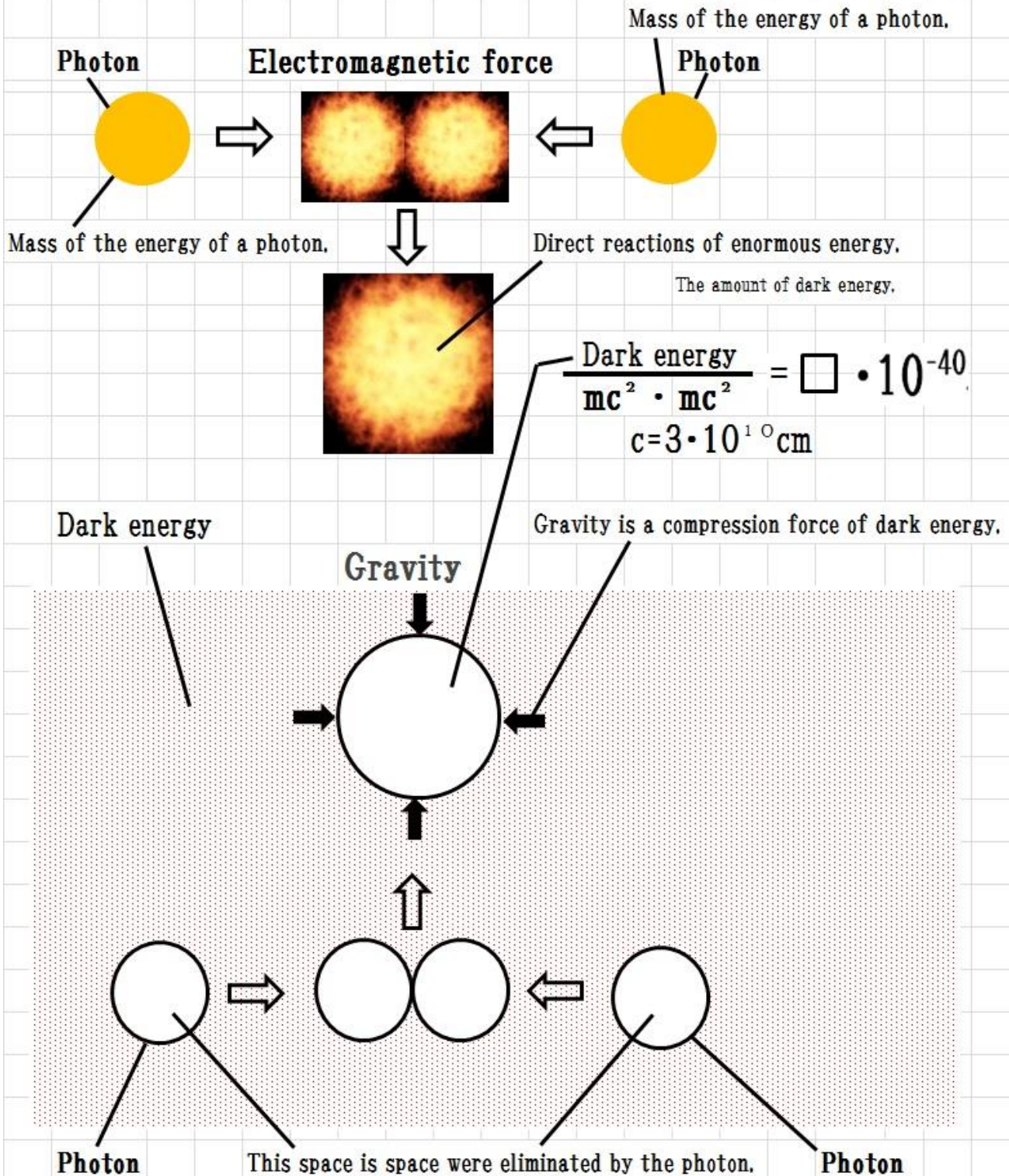
The difference between the force of gravity and the electromagnetic force.

(Image picture)

Electromagnetic force is a direct response of the energy of the photon and photon ene

Photon energy is not involved in gravity.

Gravity is the effect of dark energy into space was eliminated.

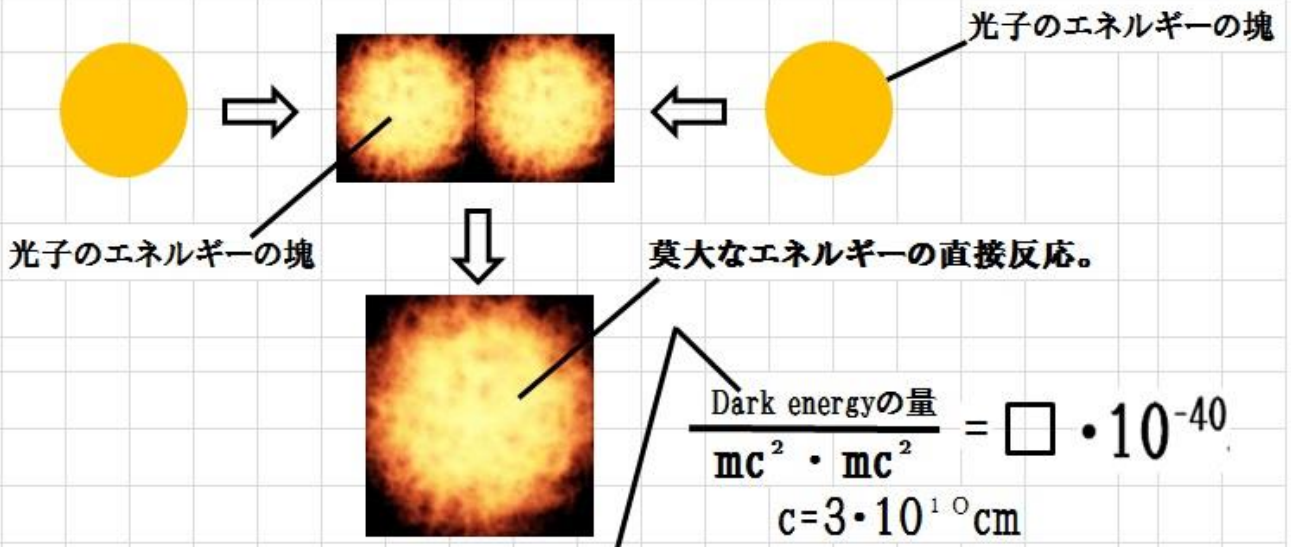


重力と電磁気力の力の差、イメージ図。

電磁気力は光子のエネルギーと光子のエネルギーとの直接反応。

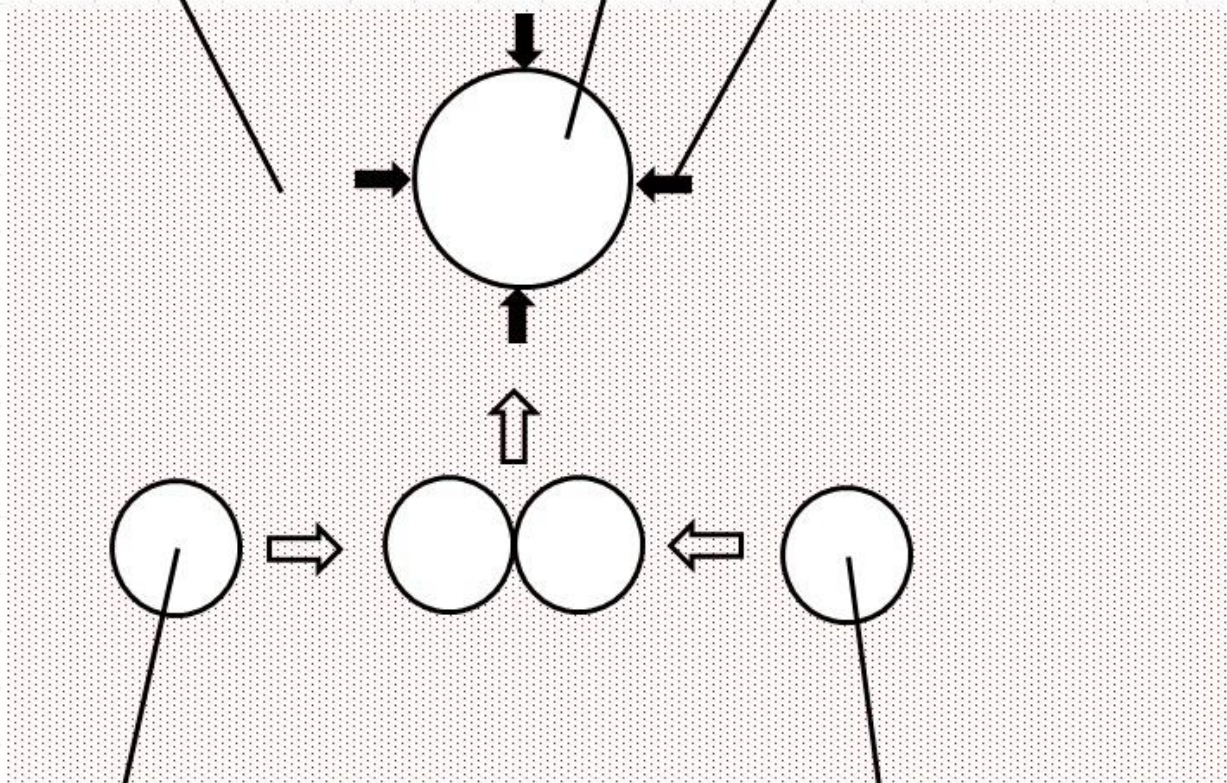
重力は光子のエネルギーは関与せず、光子が排除した空間への暗黒エネルギーの作用。

希薄な暗黒エネルギーと莫大な質量のエネルギーとの差が大ききな力の差として現れる。



Dark energy

重力は暗黒エネルギーの圧縮力。



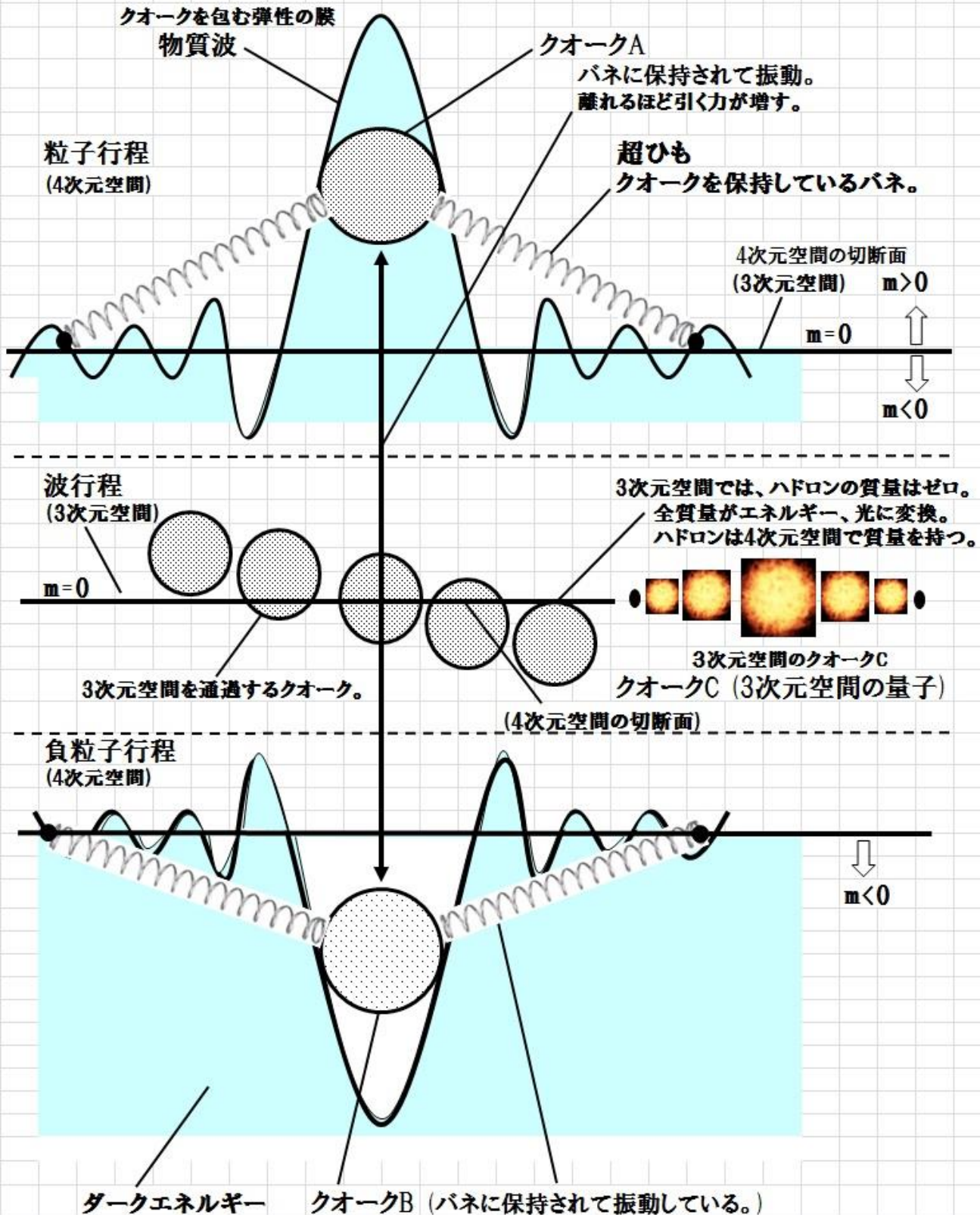
光子が排除した空間。

光子が排除した空間。

素粒子脈動原理が導く、超ひも・クォーク理論。(イメージ図)

(素粒子サイズのみも理論。)

- * 初期ひも理論の欠点。質量ゼロのハドロンやクォークの接近等の矛盾を解消する。
- * クォークAとクォークBは同じものが振動している。両者は別々の存在ではない。
- * クォークを保持して振動させている弾性体は暗黒エネルギーの波、物質波である。
- * 4次元空間で振動している一つのクォークが粒子行程、波行程、負粒子行程にて姿を変えて、クォークA、クォークB、クォークC(3次元空間)に変わる。
- * 波行程(3次元空間、膜宇宙)にて、ハドロンの質量はゼロ。全質量が光になっている。



脈動仮説がスピンの謎を解明する。

- * 素粒子脈動原理の各行程とスピンとが対応している。粒子行程、負粒子行程は半整数スピン、波行程は整数スピンと対応する。
- * 脈動の粒子行程、半整数スピン $1/2$ は電子、陽子、中性子、陽電子、クォーク等のフェルミ粒子に対応し、質量 $m > 0$ を持つ。
- * 脈動の波行程、整数スピン $2/2$ は光子、等のボーズ粒子に対応し、質量 $m = 0$ で光速で伝播する。
- * 脈動の行程の違いはスピンの整数、半整数に対応し、両者はタイミングの差ではないが、その作用は大幅な違いとなっている。
- * 素粒子脈動原理は素粒子サイズの超ひも理論を提唱する。ハドロンは波行程にて質量ゼロ(点)となり、4次元空間で脈動している。
- * 現在の超ひも理論は「極微のひも」が点ではないので標準理論に適用せず、次元のコンパクト化、実験による検証不能等と困難が山積。
- * 素粒子サイズの超ひも理論は、素粒子を点として扱う場の量子論に適用し、重力や暗黒エネルギーを説明し、二重スリット実験の謎を解く。

